

2019年度(平成31年度・令和元年度) 事業方針 及び 計画 (案)

(2019年(平成31年4月1日～2020年(令和2年)3月31日)

特定非営利活動法人こまちぷらす

I 事業の活動方針

法人運営7年目となる2019年度(平成31年度・令和元年度)では次の5つのことに力点を置き事業を推進する。

1点目は、こまちカフェの場をこまちパートナーの方々と一緒に「対話できる場」「参画できる場」「埋もれている社会の声を可視化する場」として進化させていくことである。そのために、カフェ部門と多様性部門・情報部門・商店会部門との連携を強化する。分断が進んでいる社会において子どもをまち全体で育てる文化を醸成するカフェ、ゆるやかなつながりを紡いでいくカフェとして世界各国から視察やボランティアを受け入れられるよう、グローバルな視点を今まで以上に意識して、日々運営・発信する。次に、地域連携を強化する。具体的には、カフェの場を通して自分の表現方法や活躍の場を見つけた人が、他でも活躍の場を見つけていくことができるよう、地域内の様々な施設・団体との連携を深められるよう手立てを講じていく。3点目として、カフェにおけるコーディネーター的人材の価値を世に広める。具体的には、過去3年間つながりデザイン事業部で実施してきた『『まちの担い手』がいつの間にかうまれるカフェ』の研究実践プロジェクトをベースに、トヨタ財団の助成を受けながら3つの居場所への伴走型研修を実施する。4点目に、ウェルカムベビープロジェクトの基盤強化を実施する。具体的には、出産祝いをつくる過程や届ける過程に「まち保育」的な視点をより取り入れ、多くの人が参加できるプラットフォームにする。また、子育てしやすい社会のインフラとなるようなイノベーションを企業連携で生み出す。5点目に、部門横断で、子育て当事者の子育て情報収集力向上に向けた取り組みを実施する。特にとつかの子育て応援ルームとことこの情報スペースにおいて、情報提供以上に子育て当事者の「情報収集をする力」を高めるための検討をすすめる。これらの5つのことを実践するために、組織面では、「財政基盤強化」「広報」「人材育成」の3つを強化する。具体的には分野横断の「広報部隊」「法人営業部隊」を立ち上げ連携をする。また、研修・面談・ミーティングなどを通じた人材育成の強化、及びスタッフが心身ともに健康で生き生きと仕事をできる環境整備にも力を入れる。尚、年央には認定NPO法人取得を目指す。

<事業内容>

I 子育て情報の提供

1. 地域子育てカレンダー事業

- ・内容：【概要】地域の子育て情報を、地域子育て支援拠点との連携により収集しネット上に毎月100件ほどデータベース化しネット検索できるよう掲載。地域別、テーマ別、キーワード毎に検索ができるようになっている。自宅からなかなか出られない出産直後や転入など、地域情報にたどりつき辛い子育て当事者に向けて、地域の施設が発行しているチラシ情報をネット上で検索できる状態にすることで、孤立の解消につなげることが狙い。拠点運営法人より受託、実施。

【2019年度の取り組み】2019年度は、これまで通りチラシをwebから閲覧できるように内容を逐次入力することを継続しつつ、以前より課題となっている「情報入手」と「情報公開」までのタイムラグを削減する手段を検討していく。また、求めている情報がすぐに検索できるよう、検索ワードの入力の工夫も継続予定。そのためにも関連施設との連携を図ったりユーザーの声をヒアリングする機会をつく

ったりしていきたい。また、地域こそだてカレンダーに関わっているメンバー1人1人が報告・連絡・相談を密にしていくことを意識しながら、より多くの旬な情報をお届けできるよう、工夫を重ねていく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区内
- ・従事者人員：2名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ10,000名程度
- ・支出額：237,000円

2. とつかの子育て応援ルームとことこ 情報スペース運営事業

- ・内容：【概要】年間約1万人以上が来場する、戸塚区役所内にある子育て情報発信及び託児機能をもつ施設において、情報発信スペースの運営を拠点運営法人より受託、実施。1人の情報コンシェルジュが常駐し、月間100件ほどの相談を傾聴、区役所の窓口含め必要な支援や情報に案内している。ベビーカーレンタルや体重計の貸し出し等も実施している。

【2019年度の取り組み】

前年に引き続き、利用者一人一人への丁寧な対応と適切な情報提供を心掛けるとともに、利用される方にとってより一層価値ある場所になるよう配慮する。特に、2019年度は、当事者の情報収集力をあげていくことができるような取り組みに力を入れる。また、利用者からの声を壁掲示している「みんなにきいてみよう」のリニューアル、産前産後の情報掲示をより見やすくすることを計画しており、プレママプレパパ、0歳児の保護者ならではの悩みや疑問に寄り添う掲示や対応をしていく。また、災害時の避難訓練やケガや嘔吐などの緊急対応訓練も行う予定。さらに、託児メンバーのスタッフミーティングや区との定例会に参加し、施設全体で安心して子育てができる環境づくりを考える。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区（以下、区役所住所）
- ・従事者人員：4名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ16,000名程度
- ・支出額：1,868,000円

II. 子育てをしている人、子ども、地域の人が思いを言語化し、つながりをサポートする場づくり

- ・内容：【概要】日祝日を除く毎日（月曜日～土曜日）戸塚駅から徒歩7分のところこまちカフェという居場所を運営。飲食の提供、雑貨の販売、イベント企画を通して子育て中の母親のリフレッシュや外出動機の創出、仲間作りのきっかけづくり、気持ちを言語化できる機会づくり、新たな情報や視点との出会いの場をつくっている。当事者や支援者・企業・行政等様々な主体の人の「ニーズ」や「できること」が集まり、コーディネーションをしながら活気のある場をつくっている。この部門では主に、飲食の提供を通じた豊かな居場所づくりをしている。

【2019年度の取り組み】2019年度も引き続き、衛生と安全に気を付けて日々営業し、安定した品質の食事を提供しながら、主に子育て世帯へのリフレッシュの機会と外出動機の創出につとめる。毎日の営

業に加え、ランチの受付方法の電子化の検討等を通して、来店のハードルを下げ、孤立している子育て層が一人でも多く外に出るきっかけになるよう日々改善していく。また、時代に合わせた運営と発信を常に心がけ、キャッシュレスへの流れの対応や情報が子育て世帯へ確実に届くよう LINE@や Instagram、Twitter などの配信も行う。

また、チーム力の向上のために、他業務のスタッフがカフェ業務にも携わり全体でカフェを支える体制づくりを行うほか、見守りボランティアやこまちパートナーの方々とのコミュニケーションも強化していく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：40 名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 9,000 名程度
- ・支出額：10,213,364 円

III. 社会から孤立しがちな当事者・支援する人の学びあい事業

1. 発達障がいをもつこどもの親を対象に情報発信・イベント実施

- ・内容：【概要】毎月 1 回、お子さんの発達に不安を持つ親、支援者、当事者の方が集まり、お話会と依頼した講師による勉強会を交互に開催。

【2019 年度の取り組み】2019 年度も、お話会と勉強会を交互に開催予定。毎回、満席となる勉強会、「佐々木正美ノートを使って」と「でこぼこなお子さんのための算数」などの会を引き続き開催し、8 月には理学療法士をお招きして、親子で体を動かす新しい企画も開催予定。特に「お話し会」はリピーターの参加が増えているため、新たに要望のあるところに「出張でこぼこの会」として開催することも模索している。

外部団体等からの講師依頼等も積極的に受け入れ、障がいのある子どもを持つ親の目線での発達障害のある子どもとの接し方やその保護者との関わり方について話をしていく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：5 名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 180 名程度
- ・支出額：46,442 円

2. ケアラーズカフェ「えんがわ」

- ・内容：【概要】子育て世代が直面する親の介護について、必要な情報に出会えることや、自身の思いを話し合える場をつくる。

【2019 年度の取り組み】

2019 年度も「子育ても介護も一人で抱えない」「介護者が自分自身を大切にすること」を目指して活動する。介護施設見学ツアーについては、より様々な種類や特色も含めて開催し、お話し会については、

ダブルケアの方が必要な情報に出会いながらも、思いを話し合い聞きあえるようなきっかけとなるテーマを取り入れながら開催する。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：3名
- ・受益対象者：子育て中の親、介護中の方、高齢者、支援者等、のべ60名程度
- ・支出額：23,000円

3. 「～不登校・ひきこもりの親ができること～ほっとひと息金曜日」

(不登校・ひきこもり学齢期児童の家族向け事業)

- ・内容：【概要】月1回金曜日午後、年2回土曜日夜に、不登校ひきこもり児童・生徒（学齢期）の家族の方がお互いの今の心情を安心して話すことができる場を提供。

【2019年度の取り組み】2019年度も引き続きお互いの気持ちを共有し情報を得ることで自信と元気を取り戻していただく場にする。また SNS 発信を通じて家から出られない親子に声を届ける。戸塚区ふれあい助成金の助成を受け（2019/4/19 現在申請中）、地域との連携を深めながら実施する。

- ・日時：4月26日、5月31日、6月22日、7月26日、8月30日、9月21日、10月25日、10月25日、12月21日、1月31日、2月28日、3月21日
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：1名
- ・受益対象者：不登校の児童の親、支援者など のべ120名程度
- ・支出額：59,663円

IV. 社会とつながりたい人が社会で活躍できる場・貢献の場を見出すためのチャレンジ事業

1. 特技を活かし、地域に貢献を考える子育て中の母親に対するサポート事業

- ・内容：【概要】こまちカフェにて、イベントスペース・カフェスペースの貸出を通して起業支援や情報発信支援を実施。

【2019年度取り組み】新たなメンバー体制で、イベントスペース・カフェスペースの貸し出しを行い、子育て世帯のゆるやかな起業支援・継続支援の場となり、子育て世帯にとってのつながりづくりの場となるよう努める。イベントスペースの契約者同士の交流会を引き続き開催し、欠席者のフォローもしながらさらなる横のつながりを大切にしていく。レンタルキッチンへの貸し出しを取りやめ、イベントスペースとカフェスペースに集中する。また、カフェ全体と連携しながらイベント内容の共有と来店者へのイベントの紹介を行い、多くの子育て世帯や市民の方が居場所に足を運ぶきっかけになるよう努める。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：5名
- ・受益対象者：起業、教室開催を考えている方及び一般市民等、のべ2100名程度

・支出額：1,769,227 円

2. 子育て中の母が特技を活かし生きがい及び仲間づくりのために作成した飲食物・手づくり品の販売

- ・内容：【概要】こまちカフェ内スペースにて、子育て中の方を中心とした市民がつくった手づくり雑貨を販売。地域の方の外出動機の創出につながり、また、子育て中の方々の得意が活きる場づくりにもつながっている。0か1ではない働き方（自宅にしながら働ける一つのスタイル）の提案の場にもなっている。

【2019年度の取り組み】

引き続き、年間を通してこまちカフェでの手作り雑貨の販売を継続し、多くの方にとっての特技が活かせる場となるよう努める。SDGsの取り組みが一部の作家にのみ認知されている状況であるため、今年度は発信に力を入れていく。「買う」「選ぶ」といった日々の暮らしの中で世界に目を向けることで、「私の日々の生活が世界につながっている」「誰かの役に立っている」という喜びを感じてもらえるよう模索していく。また、手づくり作家同士の交流会や外部出店なども引き続き行い、活気ある事業としていきたい。

- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：2名
- ・受益対象者：手づくり小物を地域でつくる方及び一般市民等、のべ1,500名程度
- ・支出額：839,807円

V. 地域の多様な主体が互いに連携・協働し、コミュニティの活性化を推進するためのコーディネート事業

1. ウェルカムベビープロジェクト

- ・内容：【概要】「子どもの誕生・子育てを歓迎する文化の醸成」を願い、出産祝いをまちの方々や企業商店の方々とつくり届ける事業を実施。事務局をヤマト運輸株式会社神奈川主管支店とともに務める。横浜市こども青少年局後援事業。出産祝いは戸塚区及び鶴見区で出産した子育て世帯のうち、希望がある世帯へ無料で、ヤマト運輸株式会社が毎月およそ70件（戸塚区50件程、鶴見区20件程）届けている。プレゼントは選考会にて4人の選考委員により採択されたものが入る。このプロジェクトは行政との連携により実施ができており、資金はすべて民間財源（協賛金や寄付）でまかなっている。住民や企業商店等様々な人が子育てに関わるきっかけとなるよう設計し、その関りと連携により新たな社会インフラ（子育てが豊かになっていくようなコト・モノ・サービス・制度）を生み出していくことも目指している。このプロジェクトからウェルカムベビープロジェクト支援自動販売機や、おむつ自動販売機等が開発され、産院とのプレママ・プレパパ教室の開催や保育園とのイベント等様々な企画が生まれている。

【2019年度の取り組み】前年度の活動を継続し、地域の人の関わりしるを保ちつつ、定着を図ることが目標。鶴見区における活動が定着し、「出産祝い」がより多くの家庭に申し込まれ、利用されるよう広報を強化、子育て支援を行う地域施設との連携を深める。

今後、当プロジェクトが持続可能であるために、企業・団体との協力連携を深め、共に知恵を絞り、共に活動を実施するよう注力しながら事業展開を行う。

尚、イオンスタイル東戸塚で開催しているイベントを、今年度よりウェルカムベビープロジェクト内の事業として位置づけ、0歳児の子どもを持つ保護者と0歳児のきょうだい、および妊娠中の方におしゃべりを通して出産・育児の不安や孤立感を手放していただけるような場である「こまちパーク」を月2回、「ウェルカムベビープロジェクトの出産祝い箱詰めイベント」「地域連携イベント」各月1回を開催する。これらを通して、出産・子育てを地域で応援するという意識づくりのきっかけとなる場を提供する。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市を中心に、全国
- ・従事者人員：4名
- ・受益対象者：戸塚区・鶴見区で生まれた赤ちゃんのご家庭の方約700人、企業、一般市民など
こまちパーク区内外の0歳児母子と0歳児のきょうだい、妊婦、500名のべ1200名程度
- ・支出額：4,443,185円

2. 地域の居場所づくりと参画のデザイン

- ・内容：【概要】カフェの場からまちの担い手が生まれる仕組みづくりを、日本財団の助成の助成を2016年から3年間受けて中間支援のNPO法人CRファクトリーと共に実施。居場所におけるコーディネーターの育成、活気のあるボランティア活動、それらを受益者負担のみならず地域負担（寄付・協賛）等できかに支えられるかを検討し、発信・展開する事業。

【2019年度の取り組み】2018年度まで開催してきた、「こまちパートナー登録説明会」等の居場所づくりと、参画しやすい仕組みのデザインを他部門との連携を強化しながら継続する。こまちパートナー登録後の活動が多くの人にとって関わりやすくなるような取り組みを、こまちパートナーの方々と一緒に考える。また、地域他機関との情報交換や連携も強化し、カフェ以外での活躍の場も増えるような仕組みも考える。また、トヨタ財団の助成を受け、2019年度は他の居場所への展開も実施予定。こまちカフェでの実践をもとに、こまちカフェ以外のコミュニティカフェや居場所においても、「担い手」が増えることと、そのコーディネーションを担う人材が育つことを目指す。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：8名
- ・受益対象者：乳幼児や学齢期の子どもを育てる親、商店、企業、支援者等、のべ900名程度
- ・支出額：3,905,907円

3. 戸塚宿ほのぼの商和会事務局

- ・内容：【概要】約65名の会員がいる戸塚の商店会の事務局を務める。その事務局機能をつとめながら、子育てに必要なまちのインフラを考え提案をしている。

【2019年度の取り組み】

「こども・高齢者・障がいをもった人も誇りと居場所と出番を感じられる地域」を商店会としてビジョンを持ち、こまちぶらすとしてもその事務局機能を担いながら商店と子育てしやすい環境について

考え提案をしていく。定例会や懇親会も、引き続き開催する。会員への情報発信を行うほか、事務局体制を強化していく。ホームページの商店会加盟店の紹介記事も 25 店舗と増えたので、取材ペースを落とし、事務局の仕事を分担して通常業務とイベント企画（年 3 回を予定）の準備などに充てていく。

- ・ 日時： 通年
- ・ 場所： 神奈川県横浜市戸塚区
- ・ 従事者人員： 3 名
- ・ 受益対象者： 68 名
- ・ 支出額： 978,188 円

4. 「おしゃべり会」データベース化

- ・ 内容：【概要】 カフェやカフェの外で行う「おしゃべり会」（対話の場）で語られる言葉を、本人の了承を得た上でデータベース化し、自分の語りや他者との対話を通じた気づきと変容を可視化する。企業や地域の施設・団体との連携によって、働いている人へのアプローチをし、ワーキングマザーが働きやすくなるような施策にもつなげる。

【2019 年度の取り組み】

2019 年度は、更に働いている世帯や企業内マネジメント層への働きかけを企業研修等通して強化する。また、居場所における様々なニーズが社会で埋もれないよう、他の団体や企業と連携してよりデータベース化やその検証をする方法を模索する。

- ・ 日時： 通年
- ・ 場所： 神奈川県横浜市戸塚区
- ・ 従事者人員： 3 名
- ・ 受益対象者： のべ 100 名程度
- ・ 支出額： 258,188 円

5. 横浜内の「コミュニティカフェ」の情報共有事業（横浜コミュニティカフェネットワーク世話人）

- ・ 内容：【概要】 横浜内のコミュニティカフェの情報共有のために活動をしている横浜コミュニティネットワークの世話人の一人として代表が活動。

【2019 年度の取り組み】

フォーラム開催や情報交換の場等を 2019 年度も予定。

- ・ 日時： 通年
- ・ 場所： 神奈川県横浜市
- ・ 従事者人員： 1 名
- ・ 受益対象者： 主に横浜市内のコミュニティカフェ実践者及び関心がある方等、およそ 50 名程度
- ・ 支出額： 0 円

IV 孤立しない社会をつくるためのまちづくり・啓発・提言事業

- ・内容：【概要】「みんなで話そう！横浜での子育てワイワイ会議実行委員会」ほか、講演や調査協力、機関誌寄稿、提言等を実施。

【2019年度の取り組み】行政関係者、中間支援、市民団体の方、企業、学生等向けにこまちぶらすの活動やカフェでの実践等について話し、ビジョンの普及啓発に努める。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県、東京都、福岡県等
- ・従事者人員：5名
- ・受益対象者：行政、団体や企業、子育て中の母親等、のべ750名程度
- ・支出額：435,144円